

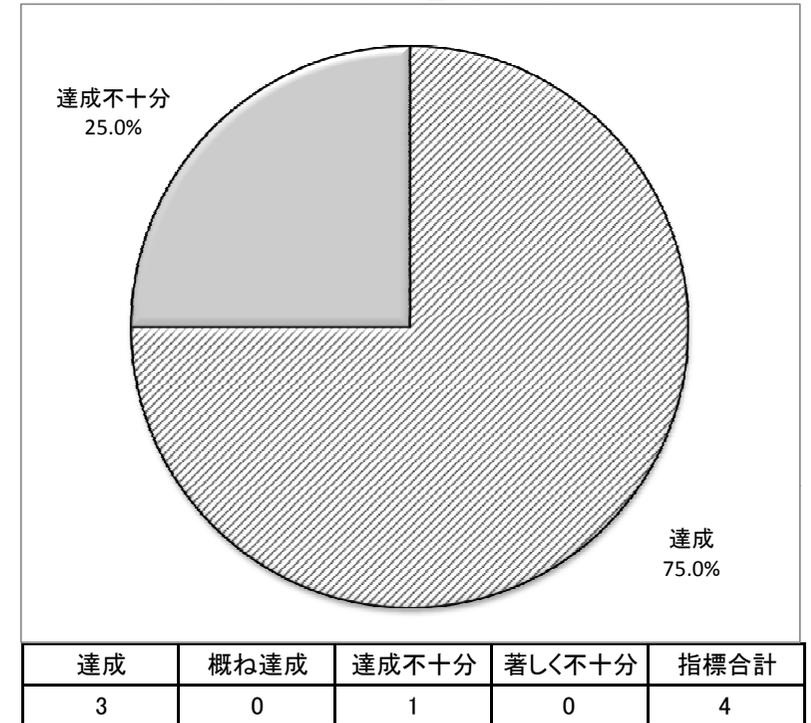
政策評価調書(23年度実績)

政策名	海外戦略の推進	政策コード	Ⅱ-5	関係部局名	企画振興部、福祉保健部、商工労働部、農林水産部、教育庁
-----	---------	-------	-----	-------	-----------------------------

【Ⅰ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	今後の方向性
1	アジアに開かれた飛躍する県づくり	概ね達成	拡充
2	国際人材の育成	達成	拡充

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅳ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

経済のグローバル化や、国内の少子高齢化・人口減少に伴う国内需要の減少に対応し、地域に活力や競争力を生み出すため、経済発展の著しい中国をはじめとするアジア各国と、経済・観光・文化・教育など多くの分野で連携を強化し、共に発展していくことが重要である。

県内の留学生は約3,900人で、大学、短大、高専に在籍する留学生数は人口10万人当たりでは全国1位となっているものの、海外観光客の誘客、県内企業への就職、県内企業の海外展開への活用うまく活用されていると言いが難しい。今年度から県内の大学に通学する留学生への奨学金制度も変更しており、これまで以上に戦略をもって、将来の交流の架け橋となる人材育成を進める必要がある。

一方、日本から海外への留学生数についても、近年減少傾向にあるなど、いわゆる若者のうち向き志向が指摘されており、国際人材の育成に積極的に取り組むことが求められている。

そのため、国も小学校5、6年生から英語を必須科目としており、言語や異なる文化を直接体験し、国際理解を深め、国際感覚を養う機会を増やすことが重要である。

また、日本の伝統や文化を正しく理解し、外国人に向け積極的に発信していくとともに、諸外国の多様な文化や考え方も理解できるバランス感覚に優れた人材の育成も必要である。

【Ⅲ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—